

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅱ		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	90	時間・6 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>利用者の個別支援技術をもとに、利用者のニーズに合った様々な生活支援のスキルを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の個別援助に必要な技術や知識を学ぶ。</li> <li>・様々な現状の対象者を、個別の身体状態に合わせた支援方法を学ぶ。</li> <li>・終末期の考え方と具体的な支援方法について学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に対して、生活支障のない知識の向上や、安全な技術の上達を目指す。</li> <li>・対象者に対して、安心して安楽でありさらに自立支援につながる生活場面でのスキルを身につける。</li> <li>・介護技術を展開する際、その支援の根拠は何かを考える力を養う。</li> <li>・個別援助の際の留意点などを、演習を通して吸収していく。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新・生活支援技術Ⅰ・Ⅱ (テキスト) ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・実技試験</li> <li>・レポート</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として高齢者施設に長年勤務し、介護職や相談員として、生活支援のための全般的な介護サービスや相談支援を提供してきた。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	座) オリエンテーション・シラバスについて						教科書・プリント
2	4月7日	座) 生活支援とは (生活支援の基本的な考え方)						〃
3	4月14日	座) ボディメカニクスと介護の留意点						教科書・プリント
4	4月14日	座) 自立に向けた移動・移乗の介助 ・体位変換と安楽な体位						〃
5	4月21日	座) 休息・睡眠の介護						教科書・プリント
6	4月21日	演習) シーツのたたみ方						ユニフォーム・靴
7	4月28日	演習) 2人ベッドメイキング						ユニホーム・靴
8	4月28日	演習) 1人ベッドメイキング						〃
9	5月12日	演習) 体位変換						ユニホーム・靴
10	5月12日	演習) 寝たままのベッドメイキング						〃
11	5月19日	演習) ベッドから車いすへの介助・実技テストの説明						〃
12	5月19日	座) 自立に向けた移動・移乗の介護						教科書・プリント
13	5月26日	演習) ベッドメイキング実技テスト						ユニフォーム・靴
14	5月26日	演習) 〃						〃
15	6月2日	座) 車いすの介助・車いすの構造・操作						〃

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
16	6月2日	演習) 車いすの介助・操作						ユニホーム・靴
17	6月9日	演習) ベッドから車いすへの移乗介助						ユニホーム・靴
18	6月9日	演習) //						//
19	7月14日	座) 歩行の介助						教科書・プリント
20	7月14日	演習) 立ち上がりの介助						ユニホーム・靴
21	7月28日	座) 自立に向けた身支度の介護						ユニホーム・靴
22	7月28日	演習) 衣服の着脱の介助 (座位でのパジャマ交換)						//
23	8月4日	演習) // (寝たままのパジャマ交換)						教科書・プリント
24	8月4日	演習) // (浴衣交換)						//
25	8月18日	座) 食事介助の留意点 演習) 食事の介助						教科書・プリント
26	8月18日	演習) 食事の介助						ユニフォーム・エプロン・弁当
27	8月25日	前期試験						
28	8月25日	16						
29	9月22日	演習) 入浴と清拭の介護						ユニホーム・靴・タオル
30	9月22日	演習) //						//

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月29日	座)自立に向けた排泄の介助①						教科書・プリント
2	10月6日	演習) おむつ交換						〃
3	10月20日	演習) ポータブルトイレの介助						ユニホーム・靴
4	10月27日	座) 食事の介助						〃
5	11月17日	座) 誤嚥予防のための支援 (帰校日)						〃
6	12月8日	座) 自立に向けた入浴の介助① (事後指導)						〃
7	12月15日	座) 〃 ②						〃
8	12月22日	座) 自立に向けた清潔保持①						〃
9	1月5日	座) 〃 ②						〃
10	1月19日	演習) 足浴の介助						ユニフォーム・タオル
11	1月26日	座) 人生の最終段階における介護①						教科書・プリント
12	2月2日	座) 人生の最終段階における介護②				後期試験まとめ		〃
13	2月9日	後期試験						
14	2月16日	座) 人生の最終段階における介護③						〃
15	2月1日	座) 人生の最終段階における介護④						〃

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅰ		授業形態	演習	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	90	時間・6 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>本科目は、本人主体の生活が継続できるよう、根拠にもとづいた介護実践を行うための知識・技術を学習する科目である。</p> <p>①福祉用具の意義を理解し、活用するための視点を学ぶ。            ②居住環境の整備の意義と目的を学ぶ。            ③家事支援の内容と基本的な考え方を理解する。            ④家事の基礎（洗濯、裁縫、そうじ、買い物、調理）を学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしい生活を送りたいという利用者の願いを支援するという、生活支援の考え方を理解できる。</li> <li>・福祉用具の適切な使用方法を理解できる。</li> <li>・高齢者や障害のある人に、どのような視点で環境整備したらよいかを室内の場所ごとに整理できる。</li> <li>・家事の基礎（洗濯、裁縫、ゴミの捨て方、買い物、調理）を理解し、実践する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ（中央法規）            ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験（60点以上）            出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。            80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』            59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護（施設・在宅・通所）で介護職・相談員として勤務経験がある。            これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。            また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	オリエンテーション/生活支援の基本的な考え方					テキスト・プリント	
2	4月14日	福祉用具の種類					テキスト・プリント	
3	4月21日	根拠にもとづく生活支援					テキスト・プリント	
4	4月28日	利用者主体の生活支援					テキスト・プリント	
5	5月12日	住まいの役割と機能					テキスト・プリント	
6	5月19日	生活空間					テキスト・プリント	
7	5月26日	快適な室内環境					テキスト・プリント	
8	6月2日	安全に暮らすための生活環境					テキスト・プリント	
9	6月9日	居住環境整備における多職種との連携					テキスト・プリント	
10	7月14日	公的制度における福祉用具サービス					テキスト・プリント	
11	7月28日	適切な福祉用具を選ぶための視点					テキスト・プリント	
12	8月4日	災害時における生活支援					テキスト・プリント	
13	8月18日	前期まとめ					テキスト・プリント	
14	8月25日	前期試験						
15	9月22日	前期まとめ					テキスト・プリント	

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月29日	オリエンテーション/自立した家事とは						テキスト・プリント
2	9月29日	自立した家事とは						テキスト・プリント
3	10月6日	洗濯の介護						テキスト・プリント
4	10月6日	洗濯の介護						テキスト・プリント
5	10月20日	衣類・寝具の衛生管理の介護						テキスト・プリント
6	10月20日	衣類・寝具の衛生管理の介護						テキスト・プリント
7	10月27日	衣類・寝具の衛生管理の介護						テキスト・プリント
8	10月27日	衣類・寝具の衛生管理の介護						テキスト・プリント
9	11月17日	買い物の介護						テキスト・プリント
10	11月17日	買い物の介護						テキスト・プリント
11	12月8日	調理の介護						テキスト・プリント
12	12月8日	調理の介護						テキスト・プリント
13	12月15日	調理実習準備						
14	12月15日	調理実習準備						テキスト・プリント
15	12月22日	調理実習						テキスト・プリント

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
16	12月22日	調理実習					テキスト・プリント	
17	1月5日	裁縫実習					テキスト・プリント	
18	1月5日	裁縫実習					テキスト・プリント	
19	1月19日	裁縫実習					テキスト・プリント	
20	1月19日	裁縫実習					テキスト・プリント	
21	1月26日	そうじ・ごみ捨ての介護					テキスト・プリント	
22	1月26日	そうじ・ごみ捨ての介護					テキスト・プリント	
23	2月2日	家庭経営、家計の管理の介護					テキスト・プリント	
24	2月2日	家庭経営、家計の管理の介護					テキスト・プリント	
25	2月10日	試験前確認					テキスト・プリント	
26	2月10日	試験前確認					テキスト・プリント	
27	2月9日	後期試験					テキスト・プリント	
28	2月17日	後期試験返却/後期まとめ						
29	2月16日	後期まとめ					テキスト・プリント	
30	2月16日	後期まとめ					テキスト・プリント	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い支援を考えていく上で必要となってくるニーズや生きがい作りにつなげるため、対象者のアセスメントから、介護計画の立案・介護の実施・評価等の流れを学ぶ。</li> <li>・個別支援の理解を深め、対象者のニーズを把握する意義を学ぶ。</li> <li>・介護過程の一連の流れから、支援の必要性を学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<p>個人のニーズを確実に把握し、アセスメントシート～計画に移行する事ができる。 把握すべき事実の内容を理解し、課題に向けての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 中央法規出版 ②必要に応じてレジェメ・資料を配布</p>					
単位認定方法	<p>【単位認定方法および基準】 定期試験（60点以上） 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は介護福祉士として勤務し、介護職として様々な経験を身に付けてきた。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	オリエンテーション・介護過程の考え方					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
2	4月14日	介護過程とは1					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
3	4月21日	介護過程の必要性1					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
4	4月28日	情報収集について①					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
5	5月12日	情報収集について②					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
6	5月19日	アセスメントについて①					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
7	5月26日	アセスメントについて②					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
8	6月2日	介護目標について					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
9	6月9日	計画立案					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
10	7月14日	実施・評価					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
11	7月28日	事例検討 情報収集①					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
12	8月4日	事例検討 情報収集②					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
13	8月18日	前期試験まとめ					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
14	8月25日	前期定期試験					試験課題	
15	9月22日	情報収集③					介護福祉士養成講座 9 介護過程	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、利用者やその家族との関係づくりなどを理解し、具体的なコミュニケーションの手法や知識を学ぶ。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>					
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	オリエンテーション／人間と人間関係					テキスト・プリント	
2	4月15日	自分と他者との理解					テキスト・プリント	
3	4月22日	発達心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
4	5月13日	社会心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
5	5月20日	認知心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
6	5月27日	集団について					テキスト・プリント	
7	6月3日	ストレスとストレッサーについて					テキスト・プリント	
8	7月15日	コミュニケーションの基本構造①					テキスト・プリント	
9	7月22日	コミュニケーションの基本構造②					テキスト・プリント	
10	7月29日	コミュニケーションの手段 1					テキスト・プリント	
11	8月5日	コミュニケーションの手段 2					テキスト・プリント	
12	8月5日	対人援助の基本①					テキスト・プリント	
13	8月19日	対人援助の基本②					テキスト・プリント	
14	8月26日	前期試験						
15	9月2日	前期まとめ						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 2		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>①利用者の生活を理解し、生活の個別性に対応できるために、生活の多様性や社会との関りを理解する。</p> <p>②ICFの視点を理解し、利用者の自立に向けての介護について理解する。</p> <p>③介護保険制度を理解し、制度の中身の把握に努める。</p>					
到達目標	<p>①介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。</p> <p>②対象者となる利用者の能力を引き出し、利用者主体の生活が継続できるようにするために生活全般の支援の視点を養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座テキスト 介護の基本1・2</p> <p>②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③グループワーク参加状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 2			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	オリエンテーション						
2	10月7日	ICFについて（復習）						レジメ
3	10月14日	介護福祉の法体制①						レジメ
4	10月21日	介護福祉の法体制②						レジメ
5	10月28日	介護福祉の法体制③						レジメ
6	11月25日	介護福祉の法体制④						レジメ
7	12月9日	介護福祉の法体制⑤						レジメ
8	12月16日	介護保険制度復習①						レジメ
9	12月23日	介護保険制度復習②						レジメ
10	1月6日	介護保険制度復習③						レジメ
11	1月13日	介護保険制度復習④						レジメ
12	1月20日	定期試験対策						レジメ
13	1月27日	後期まとめ						レジメ
14	2月3日	定期試験						
15	2月10日	振り返り						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	福祉一般1		授業形態	講義	担当教員	篠原 佑太
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会においてなくてはならないのが情報処理技術である。</li> <li>・ この授業では、特に介護現場において使用する情報処理技術(ICT)を学ぶ。</li> <li>・ また、諸法律・情報セキュリティの学習は、現代社会での被害者・加害者にならないための最低限のスキルでもある。 (文書作成、表計算、プレゼンテーション技術、著作権、個人情報保護、情報セキュリティ)</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータを道具として利用できる基本知識と技術の習得、及び介護現場に必要な最低限のスキルを身につけ、理解する</li> <li>・ 著作権について理解する</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての著作権講座</li> <li>・ 自作のテキスト</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内試験</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 筆記試験</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		福祉一般1			授業形態	講義	担当教員	篠原 佑太
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	ガイダンス アイスブレイク						筆記用具
2	4月15日	表計算の基礎						テキスト
3	4月22日	表計算の応用						テキスト
4	5月13日	表計算の応用						テキスト
5	5月20日	表計算の応用(自宅学習orリモート授業)						テキスト
6	5月27日	表計算の応用(自宅学習orリモート授業)						テキスト
7	6月3日	表計算の応用						テキスト
8	6月10日	表計算の応用 (授業内課題試験)						テキスト
9	7月15日	諸法律 (著作権法)						テキスト
10	7月22日	諸法律 (著作権法)						テキスト
11	7月29日	諸法律 (著作権法)						テキスト
12	8月5日	諸法律 (著作権法)						テキスト
13	8月19日	諸法律 (著作権法)						テキスト
14	8月19日	筆記試験						テキスト
15	8月26日	筆記試験 試験返し						テキスト

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ 2		授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間	4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>①介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とする。</p> <p>②こころとからだのしくみ1の知識を基に、利用者者の身支度や食事、排泄などの生活を支える介護実践との関係を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理、人体構造と機能の基礎的な知識を理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新 介護福祉士養成講座 ① 中央法規</li> <li>・必要に応じてプリント</li> </ul>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 (60点以上)</li> <li>・出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃	
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203	教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品		
1	4月9日	シラバス説明・細胞と遺伝子のしくみ					テキスト・配布資料		
2	4月16日	身体各部の名称					テキスト・配布資料		
3	4月23日	骨・関節のしくみ					テキスト・配布資料		
4	5月7日	筋肉のしくみ					テキスト・配布資料		
5	5月14日	内臓のしくみ					テキスト・配布資料		
6	5月21日	脳・神経のしくみ					テキスト・配布資料		
7	5月28日	交感神経・副交感神経					テキスト・配布資料		
8	6月4日	呼吸器のしくみ					テキスト・配布資料		
9	6月11日	循環器のしくみ					テキスト・配布資料		
10	7月16日	呼吸器・循環器のしくみ					テキスト・配布資料		
11	7月23日	消化器のしくみ					テキスト・配布資料		
12	7月30日	内分泌のしくみ					テキスト・配布資料		
13	8月6日	血液・体液・リンパのしくみ					テキスト・配布資料		
14	8月20日	前期総復習					テキスト・配布資料		
15	8月27日	前期試験					試験問題		

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		1 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月7日	移動のしくみ					テキスト・配布資料	
2	10月14日	心身に機能低下が移動に及ぼす影響 皮膚のしくみ					テキスト・配布資料	
3	10月21日	身支度 顔面のしくみ					テキスト・配布資料	
4	10月28日	身支度 目のしくみ					テキスト・配布資料	
5	11月25日	身支度 耳のしくみ					テキスト・配布資料	
6	12月9日	身支度 口・爪・髪の毛のしくみ					テキスト・配布資料	
7	12月16日	食事のしくみ 人体の構造・しくみ全般					テキスト・配布資料	
8	12月23日	食事のしくみ 治療食・低栄養について					テキスト・配布資料	
9	1月6日	入浴・清潔 人体のメカニズムについて					テキスト・配布資料	
10	1月13日	入浴・清潔について 変化の気づき					テキスト・配布資料	
11	1月20日	排泄のしくみ 排尿について					テキスト・配布資料	
12	1月27日	排泄のしくみ 排尿について					テキスト・配布資料	
13	2月3日	後期総まとめ					試験問題	
14	2月10日	後期試験					テキスト・配布資料	
15	2月17日	後期試験振り返り					テキスト・配布資料	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 1		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①実習先の種別を理解した上で、それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について理解を深めることができる。</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験 (授業内)</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 1				授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期		使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月8日	オリエンテーション/実習について							
2	4月15日	実習先の種別の確認(グループホーム・デイサービス)						テキスト	
3	4月22日	実習先の種別の確認 (特別養護老人ホーム・老人保健施設)						テキスト	
4	5月13日	実習先の種別の確認 (障害者支援施設他)						テキスト	
5	5月20日	実習の意義と目的						テキスト	
6	5月27日	実習の流れについて						テキスト	
7	6月3日	実習書類作成						テキスト	
8	6月10日	実習記録について						テキスト	
9	7月15日	実習関係書類の書き方について						テキスト	
10	7月22日	施設実習の記録について						テキスト	
11	7月29日	施設実習の記録について						テキスト	
12	8月5日	実習先種別についての確認テスト (50分)						実習指導要綱 実習ファイル	
13	8月19日	実習準備・実習ファイル作成						実習指導要綱 実習ファイル	
14	9月5日	グループスーパービジョン (各担当ごと) /事前指導						実習指導要綱 実習ファイル	
15	9月22日	グループスーパービジョン (各担当ごと) /事後指導						実習指導要綱 実習ファイル	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間の尊厳と自立		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>本科目は、介護を学ぶ第一歩として、介護福祉の価値・倫理、理念を学ぶ基礎的な科目である。</p> <p>①人権思想の歴史的展開や福祉理念の変遷とともに、人間の尊厳や人権・権利擁護について学ぶ。</p> <p>②自立の考え方について学ぶとともに、尊厳を守る仕事と自立支援の関係性を学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳と、尊厳を保持するために必要な考え方を理解できる。</li> <li>・日本国憲法をはじめ、種々の法律に示されている人間の尊厳について理解できる。</li> <li>・日本国憲法で規定されている基本的人権について整理し、さらに、人権尊重のために、介護福祉士に求められる義務について理解できる。</li> <li>・権利擁護やエンパワメント、ソーシャル・インクルージョンなどの考え方を整理する。</li> <li>・虐待や差別、詐欺などの具体的な内容や、権利侵害への対応策について理解できる。</li> <li>・最終的な到達目標：介護福祉の価値・倫理、理念といった目に見えないものを、学生が具体的な態度行動として表すことができるようになる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 (中央法規)</p> <p>②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護 (施設・在宅・通所) で介護職・相談員として勤務経験がある。</p> <p>これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。</p> <p>また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間の尊厳と自立			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ	
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	203	教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品		
1	9月30日	オリエンテーション／「人間を理解すること」の意味					テキスト・プリント		
2	10月7日	人間の尊厳と自立尊厳と利用者主体、人権思想の潮流とその具現化					テキスト・プリント		
3	10月14日	人権や尊厳に関する日本の諸規定					テキスト・プリント		
4	10月21日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 1					テキスト・プリント		
5	10月28日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 2					テキスト・プリント		
6	12月9日	人権尊重と権利擁護 1					テキスト・プリント		
7	12月16日	人権尊重と権利擁護 2					テキスト・プリント		
8	12月23日	自立の概念の多様性					テキスト・プリント		
9	1月6日	自立とは					テキスト・プリント		
10	1月13日	介護を必要とする人の自立と自立支援 1					テキスト・プリント		
11	1月20日	介護を必要とする人の自立と自立支援 2					テキスト・プリント		
12	1月27日	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性 1					テキスト・プリント		
13	2月3日	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性 2					テキスト・プリント		
14	2月10日	定期試験					テキスト・プリント		
15	2月17日	後期まとめ							

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>認知症の原因疾患と、それに基づいた支援方法について学ぶ。医学面・心理面から認知症の人を理解し、基本的な生活支援方法について学習する。</p> <p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>認知症のある人が、その人らしく生きていくための支援方法について、その知識と技術を習得する。さらに多職種連携について学習する。</p>						
到達目標	<p>【授業終了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>認知症とは何かを理解し、個別的ケアを提供するための知識や技術を習得する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>						
単位認定方法	<p>【単位認定方法】</p> <p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、グループワーク・レポート提出</p> <p>授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設で介護職員として勤務。その後、看護師資格を取得後病院勤務経験から、認知症の疾患と必要なケアについて講義する。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月9日	オリエンテーション/認知症とは何か						
2	4月16日	認知症ケアと歴史						
3	4月23日	認知症ケアの理念と視点						
4	5月7日	認知症の症状・診断・治療・予防（中核症状の理解）						
5	5月14日	認知症の症状・診断・治療・予防（中核症状の理解）						
6	5月21日	BPSDの理解						
7	5月28日	BPSDの理解						
8	6月4日	認知症の原因疾患と症状・生活障害①：アルツハイマー型・血管性認知症						
9	6月11日	認知症の原因疾患と症状・生活障害②レビー正体型・前頭側頭型型認知症						
10	7月16日	認知症の原因疾患と症状・生活障害③治療可能な認知症・若年性認知症他						
11	7月23日	認知症の人の心理/生活障害の理解						
12	7月30日	認知症の診断と重症度						
13	8月6日	認知症の治療薬/認知症の予防						
14	8月20日	前期試験						
15	9月22日	認知症当事者の視点から見えるもの						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>介護過程の応用として事例検討を通して、根拠に基づいた介護過程の展開について学ぶ。 また対象者のより良い生活を実現するための援助方法を考える力を養う。</p>					
到達目標	<p>事例検討を通して、個人のニーズを把握し、アセスメントから計画立案、実践に移行することができる。 利用者個々に把握すべき事実の内容を理解し、課題にむけての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 ②教職員テキスト</p>					
単位認定方法						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>施設勤務や通所介護の相談員の経験から、利用者の介護計画を作成し、実施してきた経験がある。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	事例検討(解釈・関連づけ・統合化) ① :グループワーク						教科書・プリント
2	10月8日	事例検討(解釈・関連づけ・統合化) ② :グループワーク						〃
3	10月22日	事例検討 (解釈・関連づけ・統合化) ③ : グループワーク						〃
4	10月29日	長期目標・短期目標・計画立案						〃
5	12月10日	事例検討 (長期目標・短期目標・計画立案)						〃
6	12月17日	事例検討①						〃
7	12月24日	事例検討②						〃
8	1月7日	事例検討③						〃
9	1月14日	事例検討④						〃
10	1月21日	発表①						〃
11	1月28日	発表②						〃
12	2月4日	ケアプラン①						〃
13	2月18日	ケアプラン②						〃
14	2月18日	後期試験						
15	3月18日	総まとめ						〃

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎教養		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>① 介護を学んでいくうえで、社会人としてのマナーを身に付けるために、様々な角度から学びを深めていく。</p> <p>② 介護について様々な角度から理解を深める。</p>					
到達目標	<p>① 介護職として社会人としてのマナーを身につけることが出来る。</p> <p>② 介護職として利用者理解できるようになり、客観的な記録ができるようになる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント配布</p>					
単位認定方法	<p>① 出欠状況・グループワーク参加状況</p> <p>② 課題・レポート提出状況</p> <p>③ 確認テスト</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者施設・訪問介護事業所での経験のある教員が、利用者と接していく中で現場に必要なマナーについて教授する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎教養			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月9日	オリエンテーション						
2	4月16日	介護福祉士としての働き方						
3	4月23日	介護記録の必要性と目的						
4	5月7日	施設職員から介護の魅力（特別養護老人ホーム）						
5	5月14日	施設職員から介護の魅力（老人保健施設）						
6	5月21日	施設職員から介護の魅力（障害者支援施設）						
7	5月28日	相手の立場になって考える						
8	6月4日	利用者の理解を深める						
9	6月11日	利用者の理解を深める						
10	7月16日	実習先へのお礼状の書き方						
11	7月24日	社会人としてのマナー						
12	7月30日	社会人としてのマナー						
13	8月6日	利用者の理解を深める						
14	8月20日	利用者の理解を深める						
15	8月27日	前期のまとめ						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士として、介護サービスを提供するにあたり、社会の仕組みと社会保障制度の基本的な考え方を学んでいく。</li> <li>・ 福祉全般の基礎的な諸制度の成り立ちや、高齢者・障害者に対する待遇の仕組みなどに関する知識の吸収を進めていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活と社会福祉のつながりや、社会保障制度の概略を理解する。</li> <li>・ 各制度の在り方を理解し、介護が必要な利用者の支援に繋げていけるようになる。</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央法規出版 介護福祉士養成講座2 「社会の理解」テキスト</li> </ul>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ その他、出席日数・授業態度等を総合的に評価する。</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設や高齢者施設に長年勤務し、介護職として対象者の支援の為、知識と技術を身に付けてきた。</p>						

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品	
1	10月1日	生活の基本機能					テキスト・レジュメ	
2	10月8日	ライフサイクルの変化・家族の機能の役割					テキスト・レジュメ	
3	10月22日	社会・組織の機能と役割					テキスト・レジュメ	
4	10月29日	地域における生活支援					テキスト・レジュメ	
5	12月10日	地域福祉の発展					テキスト・レジュメ	
6	12月17日	地域共生社会について					テキスト・レジュメ	
7	12月24日	地域包括ケアについて					テキスト・レジュメ	
8	1月7日	社会保障制度の基本的な考え方					テキスト・レジュメ	
9	1月14日	社会保障制度の発展					テキスト・レジュメ	
10	1月21日	社会保障制度のしくみ①					テキスト・レジュメ	
11	1月28日	〃 ②					テキスト・レジュメ	
12	2月4日	〃 ③					テキスト・レジュメ	
13	2月4日	社会保障の仕組み④ 社会福祉法人						
14	2月18日	後期試験					テキスト・レジュメ	
15	3月18日	まとめ						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ 1		授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理や機能を理解する学習とする。</li> <li>・ 介護サービスを実際に提供する際に必要な観察力、判断力の根拠となる人間のこころのしくみとからだのしくみの基礎を学ぶ。</li> </ul>						
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理について理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新 介護福祉士養成講座 ⑪ 中央法規</li> <li>・ 必要に応じてプリント</li> </ul>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>						

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ 1			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	ガイダンス					テキスト・配布資料	
2	4月17日	健康の概念（健康寿命・ホメオスタシス）					テキスト・配布資料	
3	4月24日	マズローの欲求					テキスト・配布資料	
4	5月8日	自己実現と尊厳・発達段階					テキスト・配布資料	
5	5月15日	小テスト					テキスト・配布資料	
6	5月22日	脳のしくみ					テキスト・配布資料	
7	5月29日	学習・記憶・思考・認知のしくみ					テキスト・配布資料	
8	6月5日	感情・意欲・適応のしくみ					テキスト・配布資料	
9	6月12日	適応規制・防衛機制					テキスト・配布資料	
10	7月10日	高齢者の人格分類					テキスト・配布資料	
11	7月17日	小テスト					テキスト・配布資料	
12	7月31日	こころのしくみ総復習					テキスト・配布資料	
13	8月7日	試験前確認・総復習					テキスト・配布資料	
14	8月21日	前期試験					試験問題	
15	9月2日	総復習					テキスト・配布資料	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>①医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する学習とする。</p> <p>②医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連付けた「個人の尊厳と自立」、 「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施する為の感染予防」、「安全管理体制」 等についての基礎的知識を理解できるようにする。</p>						
到達目標	<p>① 喀痰吸引・経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的知識、 実施手順方法を理解できるようにする。</p> <p>② 必要物品の準備が出来、安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることが できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規</p> <p>改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ 出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	201・介護実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	清潔保持と感染予防					テキスト・配布資料	
2	10月2日	清潔保持と感染予防					テキスト・配布資料	
3	10月9日	①呼吸のしくみと働き ②痰吸引に伴うケア・痰を出しやすくする体位					テキスト・配布資料	
4	10月9日	①呼吸のしくみと働き ②痰吸引に伴うケア・痰を出しやすくする体位					テキスト・配布資料	
5	10月16日	喀痰吸引で使用する器具・機材とそのしくみ 清潔の保持について					テキスト・配布資料	
6	10月16日	喀痰吸引で使用する器具・機材とそのしくみ 清潔の保持について					テキスト・配布資料	
7	10月23日	喀痰吸引により生じる危険や事後の安全確認 喀痰吸引の手技について					テキスト・配布資料	
8	10月23日	喀痰吸引により生じる危険や事後の安全確認 喀痰吸引の手技について					テキスト・配布資料	
9	10月30日	経管栄養の目的、準備方法、留意点					テキスト・配布資料	
10	10月30日	経管栄養の目的、準備方法、留意点					テキスト・配布資料	
11	12月9日	吸引の技術と留意点（吸引前と吸引後） 吸引を行う利用者の状態観察					テキスト・配布資料	
12	12月9日	吸引の技術と留意点（吸引前と吸引後） 吸引を行う利用者の状態観察					テキスト・配布資料	
13	12月16日	後期試験					試験課題	
14	12月16日	後期試験					試験課題	
15	12月23日	試験の解説・振り返り					テキスト・配布資料	

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・介護実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
16	12月23日	試験の解説・振り返り						テキスト・配布資料
17	1月8日	人工呼吸器装着利用者の説明及び吸引時の留意点						テキスト・配布資料
18	1月8日	人工呼吸器装着利用者の説明及び吸引時の留意点						テキスト・配布資料
19	1月15日	急変状態について理解できる ①急変時の対応と事前準備を説明できる ②急変時の報告について説明できる						テキスト・配布資料
20	1月15日	急変状態について理解できる ①急変時の対応と事前準備を説明できる ②急変時の報告について説明できる						テキスト・配布資料
21	1月22日	救急蘇生法						テキスト・配布資料
22	1月22日	救急蘇生法						テキスト・配布資料
23	1月29日	医療的ケアの実施前後の観察とその報告方法について						試験問題
24	1月29日	医療的ケアの実施前後の観察とその報告方法について						試験問題
25	2月5日	喀痰吸引時における状態変化に対する対応						テキスト・配布資料
26	2月5日	喀痰吸引時における状態変化に対する対応						テキスト・配布資料
27	2月12日	経管栄養の前後における状、態変化に対する対応						テキスト・配布資料
28	2月12日	経管栄養の前後における状、態変化に対する対応						テキスト・配布資料
29	2月19日	総まとめ						テキスト・配布資料
30	1月19日	総まとめ						テキスト・配布資料

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>【授業全体の概要】</p> <p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p>					
到達目標	<p>様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 1 4 「障害の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	エンターション					テキスト	
2	4月17日	障害の概念					テキスト	
3	4月24日	障害福祉の基本的理念					テキスト	
4	5月8日	障害者福祉に関連する制度 障害のある人の心理					テキスト	
5	5月15日	視覚障害					テキスト	
6	5月22日	聴覚障害					テキスト	
7	5月29日	聴覚・言語障害、重複障害					テキスト	
8	6月5日	肢体不自由（麻痺・拘縮）					テキスト	
9	6月12日	肢体不自由（脳性麻痺）					テキスト	
10	7月17日	脊髄損傷					テキスト	
11	7月24日	知的障害、精神障害					テキスト	
12	7月31日	発達障害、高次脳機能障害					テキスト	
13	8月7日	振り返り					テキスト	
14	8月22日	定期試験					テキスト	
15	8月28日	解答解説					テキスト	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。						
到達目標	様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。						
使用テキスト 参考文献 教材	最新介護福祉士養成講座 1 4 「障害の理解」						
単位認定方法	定期試験：マークシート方式 出席日数、授業態度等、総合的に評価する						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。 さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	重症心身障害					テキスト	
2	10月9日	難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病）					テキスト	
3	10月16日	難病（悪性関節リウマチ、筋ジストロフィー）					テキスト	
4	10月23日	ヒト免疫不全ウイルス					テキスト	
5	10月30日	肝機能障害					テキスト 消化器レジュメ	
6	12月11日	腎機能障害					テキスト 腎・泌尿器レジュメ	
7	12月18日	膀胱・直腸障害					テキスト 腎・泌尿器レジュメ	
8	12月25日	小腸機能障害					テキスト	
9	1月8日	心臓機能障害					テキスト 循環器レジュメ	
10	1月15日	呼吸機能障害					テキスト 呼吸器レジュメ	
11	1月29日	地域のサポート体制					テキスト	
12	2月5日	チームづくり					テキスト	
13	2月12日	家族の支援					テキスト	
14	2月19日	定期試験						
15	2月25日	解答解説					定期試験問題用紙	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うところとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題 老化に伴うところとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>					
到達目標	<p>発達に関する理論などを知ることができる。</p> <p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 1 2</p> <p>「発達と老化の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p> <p>出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。 さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	オリエンテーション 人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題					テキスト	
2	4月17日	老年期の特徴と発達課題、老化に伴うところとからだの変化と生活					テキスト	
3	4月24日	高齢者の健康 疾患に伴う基本的な症状（免疫、炎症、浮腫）					テキスト レジュメ	
4	5月8日	皮膚疾患（褥瘡、疥癬、白癬、老人性皮膚掻痒症）					テキスト レジュメ	
5	5月15日	内分泌代謝疾患（糖尿病、脂質異常症、痛風）					テキスト レジュメ	
6	5月22日	脳神経疾患（脳血管疾患：脳出血）					テキスト レジュメ	
7	5月29日	脳神経疾患（脳血管疾患：ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症）					テキスト レジュメ	
8	6月5日	脳神経疾患（脳血管疾患：くも膜下出血）					テキスト レジュメ	
9	6月12日	消化器系疾患（消化液について）					テキスト レジュメ	
10	7月17日	消化器系疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍）					テキスト レジュメ	
11	7月24日	消化器系疾患（逆流性食道炎、感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎）					テキスト レジュメ	
12	7月31日	消化器系疾患（感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎、（腸閉塞）					テキスト レジュメ	
13	8月7日	消化器系疾患（肝硬変）					テキスト レジュメ	
14	8月21日	定期試験					テキスト レジュメ	
15	8月29日	解答解説					問題用紙	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うところとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題 老化に伴うところとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>						
到達目標	<p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ 最新 介護福祉士養成講座 1 2 「発達と老化の理解」</p>						
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。 さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	腎・泌尿器疾患（慢性腎不全）					テキスト レジュメ	
2	10月9日	腎・泌尿器疾患（腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺肥大症、尿路結石）					テキスト レジュメ	
3	10月16日	循環器疾患（高血圧、心筋梗塞・狭心症、閉塞性動脈硬化症）					テキスト レジュメ	
4	10月23日	循環器疾患（心不全：肺水腫、心臓喘息、肝肥大、腹水、浮腫）					テキスト レジュメ	
5	10月30日	循環器疾患（不整脈）					テキスト レジュメ	
6	12月11日	呼吸器疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患）					テキスト レジュメ	
7	12月18日	呼吸器疾患（肺炎、結核）					テキスト レジュメ	
8	12月25日	骨格系・筋系疾患（骨粗鬆症、骨折、変形性関節症、変形性脊椎症）					テキスト レジュメ	
9	1月8日	骨格系・筋系疾患（変形関節症、変形脊椎症、脊柱狭窄症）					テキスト レジュメ	
10	1月15日	感覚器疾患（眼科：白内障、緑内障、加齢黄斑変性。聴覚：老人性難聴。歯科：虫歯、歯周病、ドライマウス）					テキスト レジュメ	
11	1月29日	悪性新生物（胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん）					テキスト レジュメ	
12	2月5日	保健医療職との連携					テキスト レジュメ	
13	2月12日	振り返り					テキスト レジュメ	
14	2月19日	定期試験						
15	2月25日	解答解説					定期試験問題	

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 1		授業形態	演習	担当教員	星野・國分	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>コミュニケーションについての基本、具体的な技法を学びながら、対人援助職という観点からコミュニケーションを考えていく。</p> <p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>介護を必要とする方の理解や、支援を行う専門職としてのコミュニケーションの知識や手法を理解し、対象者家族・多職種とのコミュニケーションの在り方を学んでいく。</p>						
到達目標	<p>【授業終了時の達成課題 (到達目標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、コミュニケーションの意義、目的、知識などを理解する。</li> <li>2、対象者に応じたコミュニケーションの違いが理解できる。</li> <li>3、他職種でのチームコミュニケーションの意味と、そこでの記録や報告等が理解できる。</li> </ol>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>【使用教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①最新介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」 (中央法規)</li> <li>②教員作成プリント</li> </ol>						
単位認定方法	<p>【単位認定方法および基準】</p> <p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>						

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術 1			授業形態	演習	担当教員	星野・國分
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	オリエンテーション 授業の説明						テキスト・プリント
2	4月18日	介護におけるコミュニケーションの意義と目的						テキスト・プリント
3	4月25日	コミュニケーションの基本 1						テキスト・プリント
4	5月7日	コミュニケーションの基本 2						テキスト・プリント
5	5月14日	コミュニケーションの基本技術 1						テキスト・プリント
6	5月21日	コミュニケーションの基本技術 2						テキスト・プリント
7	5月28日	コミュニケーション態度に関する基本技術②						テキスト・プリント
8	6月4日	言語コミュニケーション						テキスト・プリント
9	6月11日	非言語コミュニケーション						テキスト・プリント
10	7月16日	実習でのコミュニケーションの振り返り						テキスト・プリント
11	7月23日	言語以外のコミュニケーション						テキスト・プリント
12	7月30日	目的別のコミュニケーション技術						テキスト・プリント
13	8月6日	集団におけるコミュニケーション技術						テキスト・プリント
14	8月20日	前期まとめ						テキスト・プリント
15	8月27日	前期試験						テキスト

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 2		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について更に理解を深める</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p> <p>④実際に現場で、介護過程の展開をし学びを深める。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習（中央法規）</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験（授業内）</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 2			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	自己目標作成						
2	10月10日	記録の書き方の確認						
3	10月17日	実習に向けての準備						実習ファイル
4	10月24日	実習に向けての準備						実習ファイル
5	10月31日	事前指導						
6	12月8日	事後指導						
7	12月12日	実習報告						
8	12月19日	実習報告						
9	1月9日	次回の実習に向けての確認						
10	1月16日	次回の実習に向けての確認						
11	1月23日	記録の書き方の確認①						
12	1月30日	記録の書き方の確認②						
13	2月6日	実習報告会						
14	2月13日	次回の実習に向けての確認						
15	2月20日	1年間のまとめ						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 1		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>本科目は、介護福祉の基本理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、「介護の基本」のキを学ぶ科目である。</p> <p>①介護ニーズの変遷を整理し、介護福祉の基本理念を学ぶ。 ②介護福祉士の役割について理解し、さらに、社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定について学ぶ。 ③介護福祉士の専門性と倫理を学ぶ。 ④介護における自立支援、ICF、リハビリテーション、介護予防について学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老老介護、認知介護等の介護問題の背景と介護サービスの変革を理解できる。</li> <li>・ 社会福祉士及び介護福祉士法の定義と介護福祉士の義務について理解できる。</li> <li>・ 介護福祉士には、利用者の人権擁護と尊厳の保持を支えるケアが求められていることを理解できる。</li> <li>・ QOL (生活の質)、ノーマライゼーション、利用者主体について理解できる。</li> <li>・ 自立支援、個別ケアの考え方を理解できる。</li> <li>・ 医学の視点に基づくリハビリテーションを理解し、さらに介護の視点をもったリハビリテーションに必要な支援やアプローチの方法を理解する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I (中央法規) ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護 (施設・在宅・通所) で介護職・相談員として勤務経験がある。 これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。 また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ	
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203	教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月11日	オリエンテーション／介護福祉を取り巻く状況						テキスト・レジュメ	
2	4月18日	介護福祉の歴史 1						テキスト・レジュメ	
3	4月25日	介護福祉の歴史 2						テキスト・レジュメ	
4	5月9日	介護福祉の歴史 3						テキスト・レジュメ	
5	5月16日	介護福祉の基本理念 1						テキスト・レジュメ	
6	5月23日	介護福祉の基本理念 2						テキスト・レジュメ	
7	5月30日	社会福祉士及び介護福祉士法 1						テキスト・レジュメ	
8	6月6日	社会福祉士及び介護福祉士法 2						テキスト・レジュメ	
9	6月13日	介護福祉士の活動の場と役割 1						テキスト・レジュメ	
10	7月18日	介護福祉士の活動の場と役割 2						テキスト・レジュメ	
11	7月25日	介護福祉士の活動の場と役割 3						テキスト・レジュメ	
12	8月1日	介護福祉士に求められる役割とその養成 1						テキスト・レジュメ	
13	8月8日	介護福祉士に求められる役割とその養成 2						テキスト・レジュメ	
14	8月22日	前期試験							
15	8月29日	前期まとめ						テキスト・レジュメ	

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	太田・國分
配当年次		1 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	介護福祉士を支える団体					テキスト・レジュメ	
2	10月10日	介護福祉士の倫理 1					テキスト・レジュメ	
3	10月17日	介護福祉士の倫理 2					テキスト・レジュメ	
4	10月24日	日本介護福祉士会の倫理綱領 1					テキスト・レジュメ	
5	10月31日	自立支援の考え方 1					テキスト・レジュメ	
6	12月12日	自立支援の考え方 2					テキスト・レジュメ	
7	12月19日	ICFの考え方 1					テキスト・レジュメ	
8	1月9日	ICFの考え方 2					テキスト・レジュメ	
9	1月16日	自立支援とリハビリテーション 1					テキスト・レジュメ	
10	1月23日	自立支援とリハビリテーション 2					テキスト・レジュメ	
11	1月30日	自立支援と介護予防 1					テキスト・レジュメ	
12	2月6日	自立支援と介護予防 2					テキスト・レジュメ	
13	2月13日	後期試験						
14	2月20日	後期まとめ 1					テキスト・レジュメ	
15	2月27日	後期まとめ 2					テキスト・レジュメ	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習Ⅰ		授業形態	実習	担当教員	星野・太田・高橋・國分
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	296 時間	6 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。</li> <li>・利用者が望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養うことができる。</li> <li>・介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	実習評価点 (60点以上) 出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	高齢者施設・障害者施設等で、実習生へ指導した経験のある教員が、実践現場に必要な知識と技術について実習指導者と連携をとりながら指導する。					

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 2	授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30 時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者および利用者家族、また職員間で行ったコミュニケーションの展開方法を学ぶ。</li> <li>・コミュニケーションの手法や展開など、事例などを通して学ぶ。</li> <li>・コミュニケーションの困難な対象者への具体的な支援の知識を学ぶ。</li> <li>・利用者や、様々な状況に応じた小技術を身につけられる授業を展開する</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを通して、利用者の理解を広げていく。</li> <li>・全ての利用者とコミュニケーションを行っていくための手法を身につける</li> <li>・コミュニケーションスキルを向上し、円滑な大人援助の形式を行っていく。</li> <li>・対象者に関わる介護者の技術と知識の向上を図る。</li> </ul>				
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新 介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術Ⅱ 中央法規出版</li> <li>・必要に応じてプリント</li> </ul>				
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 (60点以上)</li> <li>・出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</li> </ul>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>				

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術 2			授業形態	演習	担当教員	星野 成美	
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品		
1	4月7日	ガイダンス・コミュニケーション1の復習					テキスト・配布資料		
2	4月14日	コミュニケーションの基本技術（振り返り）					テキスト・配布資料		
3	4月21日	対象者の特徴に応じたコミュニケーション1					テキスト・配布資料		
4	4月28日	対象者の特徴に応じたコミュニケーション2					テキスト・配布資料		
5	5月12日	対象者の特徴に応じたコミュニケーション3					テキスト・配布資料		
6	5月19日	家族とのコミュニケーション1					テキスト・配布資料		
7	5月26日	家族とのコミュニケーション2					テキスト・配布資料		
8	6月2日	家族とのコミュニケーション3					テキスト・配布資料		
9	7月14日	介護におけるチームのコミュニケーション1					テキスト・配布資料		
10	7月28日	介護におけるチームのコミュニケーション2					テキスト・配布資料		
11	7月28日	介護におけるチームのコミュニケーション3					テキスト・配布資料		
12	8月4日	総復習					テキスト・配布資料		
13	8月18日	前期試験					試験問題		
14	8月25日	前期試験問題の解説					テキスト・配布資料		
15	9月1日	総復習					テキスト・配布資料		

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>1年生での学びの振り返り、再度人の心の動き（心理学）を色々な角度から学び、そこから人間関係をどのように形成していくことが必要なのかを再確認する。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>						
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月29日	人間と人間関係						
2	10月6日	自己覚知						
3	10月20日	ジョハリの窓						
4	10月27日	チームマネージメントの意義						
5	11月10日	チームマネージメントの意義						
6	11月10日	チームマネージメントの意義						
7	11月17日	ケアを展開する為のチームマネージメント						
8	12月1日	ケアを展開する為のチームマネージメント						
9	12月1日	人材育成・自己研鑽のためのチームマネージメント						
10	12月8日	人材育成・自己研鑽のためのチームマネージメント						
11	12月8日	定期試験						
12	12月15日	組織におけるコミュニケーション						
13	1月5日	組織の目標達成のためのチームマネージメント						
14	1月19日	組織の目標達成のためのチームマネージメント						
15	1月26日	まとめ						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 2		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>認知症の人の個別性に合わせた具体的な支援方法や、家族支援のあり方について考える。 講義・演習・グループワークを通じて、認知症の人の生活支援を考える。</p> <p>認知症のステージに応じた支援や、その生活する場の違いを把握し、介護職としての 関わり方について学ぶ。</p>						
到達目標	<p>介護福祉士として認知症の人との関わり方を学び、人間の尊厳と自立に向けた取り組みが できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、グループワーク・レポート提出 授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 認知症の理解についての講義を行っていく。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 2			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ	
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品	
1	4月7日	オリエンテーション／1年の復習						テキスト・プリント	
2	4月14日	認知症ケアの理念と視点						テキスト・プリント	
3	4月21日	認知症当事者の視点、パーソンセンタードケア						テキスト・プリント	
4	4月28日	アセスメントツール						テキスト・プリント	
5	5月12日	認知症の人とのコミュニケーション						テキスト・プリント	
6	5月19日	認知症の人へのケア						テキスト・プリント	
7	5月26日	認知症の人へのさまざまなアプローチ						テキスト・プリント	
8	6月2日	認知症の人の終末期ケアと介護、環境づくり						テキスト・プリント	
9	6月30日	施設実習での学び①						テキスト・プリント	
10	7月14日	施設実習での学び②						テキスト・プリント	
11	7月28日	介護者支援						テキスト・プリント	
12	8月4日	力試し（模擬試験）						テキスト・プリント	
13	8月18日	認知症の人の地域生活支援						テキスト・プリント	
14	8月25日	前期試験							
15	9月1日	前期のまとめ						テキスト・プリント	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>前年度に引き続き「社会の理解」第4章、5章、6章について学び、知識を広げる。</p> <p>授業の中で、介護保険制度に関連する社会状況、制度を理解する。</p> <p>また、社会の法制度を学ぶことによって、高齢者・障害者施策の在り方、支援の方向性を考えられる力を身に付け、自身が実務を行う際に、自信を持って業務を行える様になる事が目的である。</p>						
到達目標	<p>介護保険制度の関する社会状況、制度を理解する。</p> <p>また、障害者保健福祉・介護実践の観点で対象者を支援する制度や動向の進展を学び、考え、社会情勢と関連する知識を深めていく。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 2 「社会の理解」中央法規</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、グループワーク等</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品		
1	9月30日	オリエンテーション・高齢者保健福祉の動向					テキスト・レジュメ		
2	10月7日	介護保険制度 1					テキスト・レジュメ		
3	10月21日	介護保険制度 2					テキスト・レジュメ		
4	10月28日	介護保険制度 3					テキスト・レジュメ		
5	11月11日	介護保険制度 4					テキスト・レジュメ		
6	11月18日	障害者保健福祉に関連する法体系					テキスト・レジュメ		
7	11月25日	学力評価試験					テキスト・レジュメ		
8	12月2日	障害者総合支援制度 1					テキスト・レジュメ		
9	12月9日	障害者総合支援制度 2					テキスト・レジュメ		
10	12月16日	後期試験					テキスト・レジュメ		
11	12月23日	障害者総合支援制度 3					テキスト・レジュメ		
12	1月6日	介護実践に関連する諸制度 1					テキスト・レジュメ		
13	1月20日	介護実践に関連する諸制度 2					テキスト・レジュメ		
14	1月27日	介護実践に関連する諸制度 3					テキスト・レジュメ		
15	2月3日	介護実践に関連する諸制度 4							

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 2		授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。</li> <li>・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように学習する。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規 改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 医療的ケアの講義を行っていく。					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 2			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	オリエンテーション						テキスト
2	4月15日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
3	4月22日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
4	5月13日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
5	5月20日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
6	5月27日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
7	6月3日	喀痰吸引関係評価						テキスト
8	6月17日	経管栄養の振り返りと留意点及び実施手順の確認						テキスト
9	7月8日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
10	7月15日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
11	7月22日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
12	7月30日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
13	8月5日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
14	8月19日	前期試験						試験問題
15	8月26日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ3		授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の構造と機能・こころのしくみを知り、加齢によるさまざまな疾患でどのような生活障害は生じるかを理解するとともに、生活障害のメカニズムを知ることにより、高齢者の生活の介護実践との関連性を理解する。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスを提供する上で「こころとからだのしくみ」が基本であることを理解するとともに、安全確保の重要性を理解できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新 介護福祉士養成講座 「こころとからだのしくみ」 中央法規</li> <li>・必要に応じてプリント</li> </ul>					
単位認定方法	定期試験 (60点以上) 出欠席状況・授業態度等総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ3			授業形態	講義	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	9月30日	休息・睡眠のしくみ					テキスト・参考資料	
2	10月7日	心身の機能低下が休息・睡眠に与える影響					テキスト・参考資料	
3	10月14日	人生の最終段階に関する「死」の捉え方					テキスト・参考資料	
4	10月21日	「死」に対するこころの理解					テキスト・参考資料	
5	10月28日	高齢者の終末期から危篤のケアについて					テキスト・参考資料	
6	11月4日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
7	11月11日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
8	11月18日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
9	11月25日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
10	12月2日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
11	12月9日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
12	12月16日	後期試験						
13	12月23日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
14	1月6日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
15	1月13日	こころとからだのしくみ 総復習					テキスト・参考資料	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア演習		授業形態	演習	担当教員	武富 須賀乃
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。</li> <li>・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように演習を行う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①実施の根拠が理解できる</li> <li>②必要物品の準備ができることを前提に安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることができる。</li> <li>③利用者の生活に必要な支援であることを理解できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規 改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、正看護師として政策医療に携わった経験を持つ。 また、自身がケアラーとしての経験を踏まえてケアラー支援のNPO法人を運営している立場を持つ。					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア演習			授業形態	演習	担当教員	武富 須賀乃
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	吸引前の準備 ①ベッドメイキング ②必要物品の準備 *吸引準備は毎回各グループで行う						テキスト
2	4月15日	口腔内吸引①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
3	4月22日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
4	5月13日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
5	5月20日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
6	5月27日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
7	6月3日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習"						テキスト
8	6月17日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
9	7月8日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
10	7月15日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
11	7月22日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
12	7月30日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
13	8月5日	実技試験						テキスト
14	8月19日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
15	8月26日	各個人でテキストを見ないで喀痰吸引の練習						評価表

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	福祉一般2		授業形態	講義	担当教員	篠原 佑太
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会においてなくてはならないのが情報処理技術である。</li> <li>・ この授業では、特に介護現場において使用する情報処理技術(ICT)を学ぶ。</li> <li>・ また、諸法律・情報セキュリティの学習は、現代社会での被害者・加害者にならないための最低限のスキルでもある。 (文書作成、表計算、プレゼンテーション技術、著作権、個人情報保護、情報セキュリティ)</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータを道具として利用できる基本知識と技術の習得、及び介護現場に必要な最低限のスキルを身につけ、理解する</li> <li>・ 個人情報保護・セキュリティについて理解する</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての著作権講座</li> <li>・ 自作のテキスト</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内試験</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 筆記試験</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		福祉一般2			授業形態	講義	担当教員	篠原 佑太
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	諸法律（個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
2	10月7日	諸法律（個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
3	10月14日	諸法律（個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎(筆記テスト)						テキスト
4	10月21日	文書処理 文書入力的基础						テキスト
5	10月28日	文書処理 文書編集						テキスト
6	11月4日	文書処理 文書作成						テキスト
7	11月11日	文書処理 文書作成						テキスト
8	11月18日	文書処理 文書作成						テキスト
9	11月25日	文書処理 文書作成						テキスト
10	12月2日	文書処理 (授業内課題試験)						テキスト
11	12月9日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
12	12月16日	プレゼンテーション 課題作成(後期試験日だが授業)						テキスト
13	12月23日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
14	1月8日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
15	1月15日	プレゼンテーション 課題提出						テキスト

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 3		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>・ 介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。</p> <p>・ 各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深め介護の専門職としての考えや態度の形成、実践力を養う総合的な学習とする。</p>					
到達目標	<p>・ 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につながるようになる。</p> <p>・ 実習の振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けるとともに、さらに深めることが出来る</p> <p>・ 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる介護実践について理解できる</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①書類の提出状況</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③グループワーク参加状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設で経験しその後訪問介護事業所で管理者の経験のある教員が校外実習に向けての心構え等や書類作成を行なっていく。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 3			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品	
1	4月7日	オリエンテーション						
2	4月14日	実習Ⅱの書類作成/前回の実習の反省					実習指導要綱 前回の実習記録	
3	4月21日	実習に向けての準備					実習指導要綱	
4	4月28日	自己目標と施設の概要の理解					実習指導要綱	
5	5月12日	実習記録の見直し					実習指導要綱 前回の実習記録	
6	5月19日	実習Ⅱに向けての準備					実習指導要綱	
7	5月26日	実習Ⅱに向けての準備						
8	6月2日	実習Ⅱに向けての準備						
9	6月9日	実習ファイル作成と注意点					実習指導要綱	
10	6月9日	実習Ⅱ 事前指導						
11	7月18日	実習Ⅱ 事後指導						
12	7月21日	訪問介護実習に向けての準備						
13	7月28日	訪問介護実習に向けての準備						
14	8月4日	訪問介護実習に向けての準備						
15	8月25日	訪問介護実習に向けての準備						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 4		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>本科目は、「介護の基本1・3」で学んだ上で、さらに学びを深めた方が良いテーマをピックアップし、学生の理解度を向上させる。</p> <p>国家試験に必要な制度の知識を、自治体のパンフレットを使って、かみ碎き分かりやすく説明する。</p> <p>① 介護保険制度のしくみ ② 障害者支援サービスのしくみ ③ 多職種連携</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険のしくみについて、図解化し、他の人に説明ができる。</li> <li>・障害者支援サービスのしくみについて、図解化し、他の人に説明ができる。</li> <li>・多職種の専門性を理解し、他の人に説明ができる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護保険パンフレット、障害者総合支援法パンフレット ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 課題・グループワークの参加状況 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護 (施設・在宅・通所) で介護職・相談員として勤務経験がある。 これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。 また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 4			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月30日	国家試験対策						プリント
2	10月7日	国家試験対策						プリント
3	10月14日	国家試験対策						プリント
4	10月21日	国家試験対策						プリント
5	10月28日	国家試験対策						プリント
6	11月4日	国家試験対策						プリント
7	11月11日	国家試験対策						プリント
8	11月18日	国家試験対策						プリント
9	11月25日	国家試験対策						プリント
10	12月2日	国家試験対策						プリント
11	12月9日	国家試験対策						プリント
12	12月16日	後期試験						
13	12月23日	国家試験対策						プリント
14	1月6日	国家試験対策						プリント
15	1月15日	国家試験対策						プリント

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 3		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>本科目は、「介護の基本1」で学んだ介護福祉の基本理念を礎に、地域を基盤とした生活の継続性を支援するしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養うための科目である。</p> <p>①介護を受けて生活する人およびその生活について学ぶ。            ②フォーマルおよびインフォーマルな支援、地域連携について事例を用いて学びを深める。            ③介護における安全の確保、リスクマネジメント、リスクを回避する方法を学ぶ。            ④多職種が連携する必要性や多職種の役割を学ぶ。            ⑤介護従事者のこころと身体の健康管理と、労働環境の両面を学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人はそれぞれ、生活経験に裏付けられた習慣や価値観をもっていることを理解できる。</li> <li>・さまざまなデータから高齢者、障害者の日常生活を把握し、理解できる。</li> <li>・ケアマネジメントのしくみ、介護サービスの種類を理解できる。</li> <li>・多職種の業務内容と役割を整理し、多職種連携の重要性を理解できる。</li> <li>・介護福祉士に求められる行動規範（倫理）を理解できる。</li> <li>・介護事故が起こりやすい状況と、リスクマネジメントのしくみを理解できる。</li> <li>・感染症の感染経路、考え方、リスク対策を理解できる。</li> <li>・介護従事者のこころと身体の健康管理の重要性、さらに、労働者に関する法律を理解できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本II（中央法規）            ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験（60点以上）            出席日数、授業態度等を総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。            80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』            59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護（施設・在宅・通所）で介護職・相談員として勤務経験がある。            これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。            また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ	
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品	
1	4月9日	オリエンテーション／私たちの生活の理解						テキスト・プリント	
2	4月16日	介護福祉を必要とする人たちの暮らし						テキスト・プリント	
3	4月23日	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解、家族介護者への支援						テキスト・プリント	
4	5月7日	利用者の生活を支えるしくみ						テキスト・プリント	
5	5月14日	フォーマルサービス 1						テキスト・プリント	
6	5月21日	フォーマルサービス 2						テキスト・プリント	
7	5月28日	インフォーマルサービス						テキスト・プリント	
8	6月4日	地域連携						テキスト・プリント	
9	7月16日	介護における安全の確保						テキスト・プリント	
10	7月23日	リスクマネジメント 1						テキスト・プリント	
11	7月30日	リスクマネジメント 2						テキスト・プリント	
12	8月6日	感染症対策						テキスト・プリント	
13	8月20日	前期試験							
14	8月27日	前期まとめ						テキスト・プリント	
15	9月3日	前期まとめ						テキスト・プリント	

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月1日	多職種連携・協働の必要性					テキスト・レジュメ	
2	10月8日	国際福祉機器展					テキスト・レジュメ	
3	10月22日	多職種連携・協働に求められる基本的な能力					テキスト・レジュメ	
4	10月29日	保健・医療・福祉職の役割と機能 1					テキスト・レジュメ	
5	11月5日	保健・医療・福祉職の役割と機能 2					テキスト・レジュメ	
6	11月12日	多職種連携・協働の実際					テキスト・レジュメ	
7	11月19日	介護従事者の健康管理の意義と目的					テキスト・レジュメ	
8	11月26日	介護従事者のこころと身体の健康管理					テキスト・レジュメ	
9	12月3日	労働環境の整備					テキスト・レジュメ	
10	12月10日	後期まとめ					テキスト・レジュメ	
11	12月17日	後期試験						
12	12月24日	国家試験対策					テキスト・レジュメ	
13	1月7日	国家試験対策					テキスト・レジュメ	
14	1月14日	国家試験対策					テキスト・レジュメ	
15	1月28日	2年間の振り返り						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を通して、聴覚障害についての理解を深める。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションツールの一つとして、手話を習得し聴覚障害者とコミュニケーションを図ることが出来る。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！ 一般社団法人全日本ろうあ連盟</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠席状況</li> <li>・授業への参加態度</li> <li>・定期試験 (60点以上)</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設・通所介護に勤務した経験から聴覚障害者への理解を深めコミュニケーションの図り方を講義する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容						使用 物 品	
1	4月9日	オリエンテーション							
2	4月16日	健康診断						テキスト	
3	4月23日	手話（講師）①						テキスト	
4	5月7日	前回の復習						テキスト	
5	5月14日	手話ダンス							
6	5月21日	手話（講師）②						テキスト	
7	5月28日	手話（講師）③							
8	6月4日	手話（講師）④							
9	7月16日	手話（講師）⑤						テキスト	
10	7月23日	手話（講師）⑥						テキスト	
11	7月30日	手話（講師）⑦						テキスト	
12	8月6日	手話（講師）⑧						テキスト	
13	8月20日	手話（講師）⑨						テキスト	
14	8月27日	手話（講師）⑩						テキスト	
15	9月3日	手話ダンス発表							

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅲ		授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	120 時間	・ 8 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>障害に応じた病態理解と生活を支えるための基本的技術を習得する。 保健医療職の役割と協働・連携について理解する。</p> <p>主に「こころとからだのしくみ」「発達と老化の理解」「障害の理解」「生活支援技術」の復習を行いながら演習を行う。</p>					
到達目標	<p>症状・所見から病態を説明し、それに合わせた対応を行い、保健医療職に報告・連絡・相談できるスキルを養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>新・介護福祉士養成講座（中央法規出版） すべてのテキストを使用</p>					
単位認定方法	<p>前期定期試験：事例による実技試験を2回実施 後期定期試験：国家試験に基づいた五者択一方式の試験 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	オリエンテーション ベッドメイキング実技確認						ベッド、リネン類
2	4月10日	ベッドメイキング実技確認テスト						ベッド、リネン類
3	4月17日	ベッドメイキング実技確認テスト 着脱介助実技確認						ベッド、リネン類 いす、着替え
4	4月17日	着脱介助実技確認テスト						いす、着替え
5	4月24日	着脱介助実技確認テスト						いす、着替え
6	4月24日	排泄介助①実技確認						ベッド、 ポータブルトイレ
7	5月8日	排泄①介助実技確認テスト						ベッド、 ポータブルトイレ
8	5月8日	排泄②介助実技確認						ベッド、オムツ類
9	5月15日	排泄②介助実技確認テスト						ベッド、オムツ類
10	5月15日	移動介助実技確認						ベッド、車いすなど
11	5月22日	移動介助実技確認テスト						ベッド、車いすなど
12	5月22日	実技確認テスト振り返り						
13	5月29日	視覚障害に応じた介護						白杖、アイマスク
14	5月29日	視覚障害に応じた介護						白杖、アイマスク
15	6月5日	運動機能障害に応じた介護 スライディングシート、スライディングボード、プッシュアップ						ベッド、車いす、スライ ディングシート・ボード

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
16	6月5日	重症心身障害に応じた介護						ベッド、車いす、リフト
17	7月17日	膀胱機能障害に応じた介護						オムツ、バルーンセット
18	7月17日	直腸機能障害に応じた介護						オムツ、ストマセット、リフト
19	7月24日	肝機能障害に応じた介護						点滴セット、衣類
20	7月24日	肝機能障害に応じた介護						点滴セット、衣類
21	7月31日	外傷時の対応 床からの立ち上がり						レジャーシート
22	7月31日	災害時の救護所対応 応急手当						三角巾
23	8月7日	振り返り（事例問題）						
24	8月7日	振り返り（事例問題）						
25	8月21日	振り返り（事例問題）						
26	8月21日	振り返り（事例問題）						
27	8月28日	定期試験Ⅰ						
28	8月28日	定期試験Ⅰ						
29	9月2日	定期試験Ⅱ						
30	9月2日	定期試験Ⅱ						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月2日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
2	10月2日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
3	10月9日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
4	10月9日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
5	10月16日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
6	10月16日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
7	10月23日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
8	10月23日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
9	10月30日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
10	10月30日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
11	11月6日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
12	11月6日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
13	11月13日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
14	11月13日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
15	11月20日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
16	11月20日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
17	11月27日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
18	11月27日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
19	12月4日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
20	12月4日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
21	12月11日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
22	12月11日	国家試験対策					テキスト、 資料、参考書	
23	12月18日	定期試験					テキスト、 資料、参考書	
24	12月18日	定期試験					テキスト、 資料、参考書	
25	12月25日	国家試験対策（再試験）					テキスト、 資料、参考書	
26	12月25日	国家試験対策（再試験）					テキスト、 資料、参考書	
27	1月8日	国家試験対策（再々試験）					テキスト、 資料、参考書	
28	1月8日	国家試験対策（再々試験）					テキスト、 資料、参考書	
29	1月15日	国家試験対策（再々々試験）						
30	1月15日	国家試験対策（再々々試験）						

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	レクリエーション支援法		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの歴史や意義を理解し、支援の方法や技術を習得する。</li> <li>・利用者の個々のニーズや状態に合わせて安全で楽しめるレクリエーションが展開できる。</li> <li>・季節や環境に合わせたレクリエーションを展開する。</li> <li>・レクリエーションの展開に当たり、具体的に計画を立案する事ができる。</li> </ul>					
到達目標	レクリエーションの必要性を理解する事が出来、具体的にレクリエーション活動を提供し、実践する事が出来る。さらに利用者の個々のニーズに合わせたレクを展開する事が出来る。					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教員テキスト</li> <li>②日本レクリエーション協会テキスト</li> <li>③教員プリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・実技試験</li> <li>・レポート</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	担当教員は通所介護に勤務しており、高齢者のレクリエーションに長年携わっていた。					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫	
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月10日	オリエンテーション/レクリエーションとは						プリント	
2	4月17日	レクリエーション理論						プリント	
3	4月24日	福祉とレクリエーション活動						プリント	
4	5月8日	プログラムの特徴・評価						プリント	
5	5月15日	アイスブレイキング						プリント	
6	5月22日	レクリエーション指導のポイント						プリント	
7	5月29日	高齢者の特徴とリスクマネジメント						プリント	
8	6月5日	ゲームの安全性と疲労度						プリント	
9	7月17日	会場の配置						プリント	
10	7月24日	レクリエーションの計画立案						プリント	
11	7月31日	リーダーとファシリテーター						プリント	
12	8月7日	グループ作り・企画書						プリント	
13	8月21日	前期試験						プリント	
14	8月28日	企画書						プリント	
15	8月28日	企画書						プリント	

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	企画書作成①						プリント
2	10月9日	企画書作成②						〃
3	10月16日	企画書作成③						
4	10月23日	練習①						
5	10月30日	練習②						
6	11月6日	練習③						
7	11月13日	練習④						ユニホーム・靴
8	11月20日	予備日						〃
9	11月27日	レク発表① ②						〃
10	12月4日	レク発表③ ④						〃
11	12月11日	レク発表⑤ 講評						ノリ、ハサミ
12	12月18日	カード作成						プリント
13	12月25日	ケーススタディ						〃
14	1月8日	国試対策						〃
15	1月15日	国試対策						〃

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 4		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>対象者のニーズを把握し、介護計画作成のためのアセスメントと、他科目で学んだ専門職の視点で、介護計画の立案および転換ができる思考過程を身につける。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々のニーズを的確に把握し、計画的に介護を実践・評価する事ができる。</li> <li>・ 把握すべき事実の内容を理解し、課題達成のための実践の内容を計画できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 ②教職員テキスト</p>					
単位認定方法	<p>①出席状況 ②ケーススタディ作成状況 ③ケーススタディ発表状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設、訪問介護事業所での経験のある教員が、介護計画の実践を振り返り、2年間の集大成であるケーススタディ作成を指導する。</p>					

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 4			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	介護過程流れの確認① ケーススタディとは						
2	10月7日	ケースステディ① はじめに						
3	10月14日	〃 ② はじめに						
4	10月21日	〃 ③ 利用者状況						
5	10月28日	〃 ④ 利用者状況						
6	11月4日	〃 ⑤ 課題の設定						
7	11月11日	〃 ⑥ 課題の設定						
8	11月18日	評価・考察①						
9	11月25日	評価・考察②						
10	12月2日	評価・考察③						
11	12月9日	おわりに①						
12	12月16日	後期試験						
13	12月23日	おわりに②						
14	1月6日	おわりに③						
15	1月13日	ケーススタディ発表練習						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験の過去問題等を通し、問題の傾向を理解し頻出問題を間違えないようにする。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士国家試験合格</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	全科目のテキスト <b>【参考文献】</b> 中央法規出版 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2026</li> <li>・ 介護福祉士受験ワークブック2026上・下</li> </ul>						
単位認定方法	定期試験 マークシート方式 出席日数、課題提出、授業態度等を総合的に評価する						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	介護系資格のスクールにて国家試験対策を担当。合格率94～100%の実績あり。 第36回国家試験ではYouTube「ケアきょう」にて解答速報の解説集の作成メンバーを務める。						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品		
1	4月18日	オリエンテーション							
2	4月18日	生活支援技術					テキスト 参考書		
3	4月18日	生活支援技術					テキスト 参考書		
4	5月23日	生活支援技術					テキスト 参考書		
5	5月23日	生活支援技術					テキスト 参考書		
6	5月23日	生活支援技術					テキスト 参考書		
7	8月8日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書		
8	8月8日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書		
9	8月8日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書		
10	8月22日	定期試験					テキスト 参考書		
11	8月22日	定期試験					テキスト 参考書		
12	8月22日	試験の答え合わせ					テキスト 参考書		
13	8月29日	定期試験					テキスト 参考書		
14	8月29日	定期試験					テキスト 参考書		
15	8月29日	試験の答え合わせ					テキスト 参考書		

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験の過去問題等を通し、問題の傾向を理解し頻出問題を間違えないようにする。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士国家試験合格</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	全科目のテキスト <b>【参考文献】</b> 中央法規出版 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2025</li> <li>・ 介護福祉士受験ワークブック2025上・下</li> </ul>						
単位認定方法	定期試験 マークシート方式 出席日数、授業態度等、総合的に評価する						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	介護系資格のスクールにて国家試験対策を担当。合格率94～100%の実績あり。 第36回国家試験ではYouTube「ケアきょう」にて解答速報の解説集の作成メンバーを務める。						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月17日	人間の尊厳と自立					テキスト 参考書	
2	10月17日	介護の基本					テキスト 参考書	
3	10月17日	介護の基本					テキスト 参考書	
4	11月14日	社会の理解					テキスト 参考書	
5	11月14日	社会の理解					テキスト 参考書	
6	11月14日	社会の理解					テキスト 参考書	
7	11月21日	社会の理解					テキスト 参考書	
8	11月21日	社会の理解					テキスト 参考書	
9	11月21日	社会の理解					テキスト 参考書	
10	12月19日	200本ノック					テキスト 参考書	
11	12月19日	200本ノック					テキスト 参考書	
12	12月19日	200本ノック					テキスト 参考書	
13	1月23日	150本ノック					テキスト 参考書	
14	1月23日	150本ノック					テキスト 参考書	
15	1月23日	決起会						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用 2		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士国家試験に向けて、基礎知識の定着及び傾向と対策について学ぶ事が出来る。</li> <li>・ また国家試験だけではなく、総合的に介護福祉士としての知識の復習を行っていく。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職活動についての心構えと、社会人としての知識とマナーについて習得する。</li> <li>・ 介護福祉士国家試験の領域別問題及び過去問題、予想問題等を使用しての問題演習を行い、国家試験合格ライン突破を目指す。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて、レジュメを配布</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に判断する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>					

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用 2			授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	201	教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月12日	オリエンテーション・ジョブカフェのまとめ							
2	4月12日	ジョブカフェのまとめ							
3	4月19日	学力試験①							
4	4月19日	学力試験②							
5	4月19日	学力試験④							
6	4月26日	ジョブカフェの発表							
7	4月26日	ジョブカフェの発表							
8	5月10日	ジョブカフェの発表							
9	5月24日	就職について（履歴書の書き方）							
10	6月6日	就職について（マナー講座）							
11	7月11日	就職について（面接時の注意点）							
12	7月18日	就職について（面接時の注意点）							
13	8月1日	国家試験対策①							
14	8月8日	国家試験対策②							
15	8月29日	まとめ							

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 4		授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験の過去問題等を通し、問題の傾向を理解し頻出問題を間違えないようにする。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士国家試験合格</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	全科目のテキスト <b>【参考文献】</b> 中央法規出版 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2025</li> <li>・ 介護福祉士受験ワークブック2025上・下</li> </ul>						
単位認定方法	課題提出 出席日数、授業態度等、総合的に評価する						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	介護系資格のスクールにて国家試験対策を担当。合格率94～100%の実績あり。 第36回国家試験ではYouTube「ケアきょう」にて解答速報の解説集の作成メンバーを務める。						

# 2025 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 4			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	11月6日	個人面談					テキスト 参考書	
2	11月6日	個人面談					テキスト 参考書	
3	11月13日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書	
4	11月13日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書	
5	11月20日	尊厳と自立 介護の基本					テキスト 参考書	
6	11月20日	尊厳と自立 介護の基本					テキスト 参考書	
7	11月27日	生活支援技術					テキスト 参考書	
8	11月27日	生活支援技術					テキスト 参考書	
9	12月4日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書	
10	12月4日	こころとからだのしくみ					テキスト 参考書	
11	1月21日	○×問題 (150問)					テキスト 参考書	
12	1月21日	○×問題 (150問)					テキスト 参考書	
13	1月27日	自己採点					国家試験問題	
14	1月29日	お金とキャリアアップのセミナー						
15	1月29日	お金とキャリアアップのセミナー						

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 3		授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>この科目は、ほかの関連科目で学んだ介護福祉の知識や技術を、実際の利用者支援に向けてどのように活かしていくのかを考える科目である。</p> <p>①介護過程1・2での学びを実習Ⅱで活かすことができるように、介護過程の展開「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の4つのプロセスについて学びを深める。</p> <p>②卒業後の利用者支援につなげることができるように、実習Ⅱにおける介護過程の実践の振り返りをする。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護過程について、知識や技術をもとに、理論的に介護過程を展開できる。</li> <li>・ 実習Ⅱで展開した介護過程を振り返り、文章化し学習発表会に参加する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程 (中央法規)</p> <p>②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>課題・グループワークの参加状況</p> <p>出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、高齢者介護 (施設・在宅・通所) で介護職・相談員として勤務経験がある。</p> <p>これらの経験を生かし、介護を学ぶ学生の養成に10年以上携わっている。</p> <p>また、現任の介護職員のキャリアアップを目指した講習も行っている。</p>					

## 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	オリエンテーション／介護過程1・2の振り返り						テキスト・プリント
2	4月18日	介護の実施						テキスト・プリント
3	4月25日	実施記録の書き方						テキスト・プリント
4	5月9日	評価						テキスト・プリント
5	5月16日	評価の書き方						テキスト・プリント
6	5月23日	事例を用いた介護過程の展開 1						テキスト・プリント
7	5月30日	事例を用いた介護過程の展開 2						テキスト・プリント
8	6月6日	実習Ⅱに向けた留意点						テキスト・プリント
9	7月18日	実習Ⅱの振り返り 1						テキスト・プリント
10	7月25日	実習Ⅱの振り返り 2						テキスト・プリント
11	8月1日	実習Ⅱの振り返り 3						テキスト・プリント
12	8月8日	実習Ⅱの振り返り 4						テキスト・プリント
13	8月22日	前期試験						
14	8月29日	前期まとめ						テキスト・プリント
15	8月29日	前期まとめ						テキスト・プリント

# 2025 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	太田 つぐみ
配当年次		2 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	オリエンテーション					テキスト・プリント	
2	10月10日	国際福祉機器展						
3	10月17日	介護過程とケアマネジメント 1					テキスト・プリント	
4	10月24日	介護過程とケアマネジメント 2					テキスト・プリント	
5	10月31日	利用者の生活と介護過程の展開 1					テキスト・プリント	
6	11月7日	利用者の生活と介護過程の展開 2					テキスト・プリント	
7	11月21日	国家試験対策					テキスト・プリント	
8	11月28日	学力評価試験						
9	12月5日	国家試験対策					テキスト・プリント	
10	12月12日	後期試験						
11	12月19日	国家試験対策					テキスト・プリント	
12	1月9日	国家試験対策					テキスト・プリント	
13	1月16日	国家試験対策					テキスト・プリント	
14	1月23日	国家試験対策					テキスト・プリント	
15	1月30日	2年間のまとめ					テキスト・プリント	

# 2025 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習Ⅱ		授業形態	実習	担当教員	星野・太田・高橋・國分
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	192 時間	・ 4 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>①本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。</p> <p>②介護過程の展開を通して対象者を理解し、本人主体の生活と自立を支援する為の介護過程を実践的に学ぶ。</p> <p>③多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①対象となる人の能力を引き出し、利用者主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。</p> <p>②介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>③各領域で学んだ知識と技術を十合氏、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	<p>実習評価点 (60点以上)</p> <p>出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者施設・障害者施設等で、実習生へ指導した経験のある教員が、実践現場で必要な知識と技術について実習指導者と連携をとりながら指導する。</p>					